

県立博物館・美術館部会での検討状況について

■ 県立美術館活性化検討の経過

○検討メンバー

委員 岡部 成行（千葉県 PTA 連絡協議会長） 久留島 浩（国立歴史民俗博物館特任教授）
 福田 正明（千葉テレビ放送株式会社顧問） 二村 好美（匝瑳市教育委員会教育長）
 協力員 齊藤 泰嘉（筑波大学名誉教授） 永山 智子（佐倉市立美術館学芸員）

○第 5 回県立博物館・美術館部会

日時：令和 2 年 7 月 28 日（火）10:00～11:45（千葉県教育庁企画管理部会議室）

議題：(1) 県立美術館の活性化についての検討計画
 (2) 県立美術館の現状と課題

○第 6 回県立博物館・美術館部会

日時：令和 2 年 9 月 2 日（火）10:00～12:05（千葉県立美術館研修室）

議題：(1) 県立美術館の活性化に向けた課題
 (2) 県立美術館が目指すべき姿と展開例

○第 7 回県立博物館・美術館部会（令和 2 年 11 月以降で調整中）

議題：県立美術館の活性化策（第三次答申素案）の取りまとめ

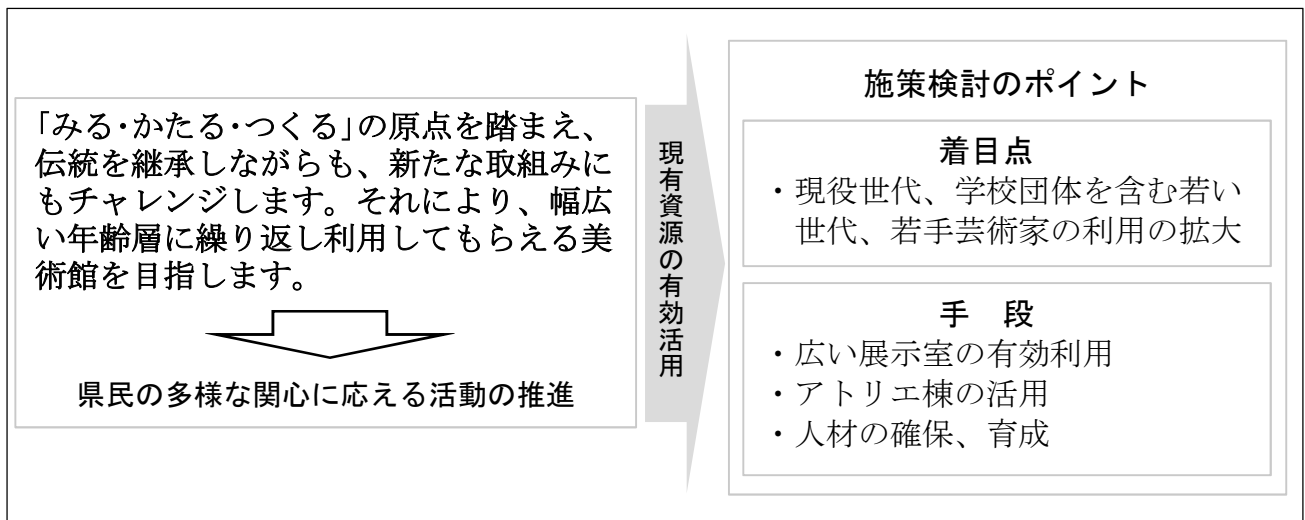
■ 県立博物館の現状と課題

区分	現状	課題
基本活動 調査・研究 収集・保管 展示	<ul style="list-style-type: none"> ・全国に誇れるコレクションを収集 ・現代芸術、特に若手芸術家の調査・研究が不十分 ・年 1 本の企画展もしくは特別展 ・年 1 回の移動美術館 ・入場者数の伸び悩み ・観覧者が 65 歳以上の高齢者に偏る 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代美術、若手作家の調査・研究・収集の充実 ・多様な関心に応える、現代芸術や若手芸術家に係る展示の充実、 ・経年劣化した作品の修復・活用拡大 ・収蔵庫の狭溢化の解消 ・利用者数の低迷と年齢構成の偏り解消 ・広い展示室等の有効活用の促進
支援 美術団体 学校団体 県民の 生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・美術団体への成果発表の場を提供 ・県展の会場として利用 ・学校団体の来館利用が 5 校 ・アトリエ棟の稼働率約 60% ・友の会の会員数は約 250 人で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術団体の固定化と高齢化への対応 ・若い世代の団体の参入の促進 ・学校団体の利用の促進 ・更なるアトリエ棟の活用 ・子ども向けプログラムの人材育成 ・友の会の活動充実、魅力向上に向けての援環境整備
連携 大学等 美術館・ 博物館等 地域	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携した事業の固定化 ・県内美術館との情報交換に留まる ・「千葉市みなと地区活性化協議会」への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学校・企業等との連携 ・県内美術館との連携事業の充実 ・博物館・図書館・公民館等との連携 ・地域の企業等との連携強化
運営全体 人材 運営体制 企画力 財源等	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館活動を計画的、継続的に行うための基盤整備が必要 ・展示等への県民のニーズ反映が不十分 ・事業の周知が不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立館としての役割の明確化 ・館運営にかかわる人材確保と育成 ・外部資金を含めた安定した財源確保 ・レストラン・ショップ等の充実 ・利用者意見を反映する仕組みの検討 ・広報活動の充実と強化

■ 県立美術館が目指すべき姿

県立美術館では、開館以来、美術を多方面から楽しむ活動理念として、「みる・かたる・つくる」をキャッチフレーズとして掲げてきました。

○ 目指すべき姿

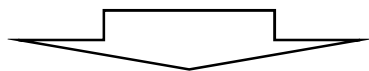


○ 施策の方向性

<p>基本活動（調査・研究、収集・保管、展示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 良質な文化芸術を県民に提供するとともに、現代の文化芸術を育てる「美術に関する知の創造拠点」として機能する
<p>支援（美術団体、学校団体、県民の生涯学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの県民に文化芸術活動を行う機会と場を提供し、その活動を支援する
<p>連携（大学、美術館・博物館、地域等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い連携により、新たな価値を創造する
<p>運営全体（人材、運営体制、企画力、財源等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活性化策を実施するための持続的運営体制を構築する

■ 県立美術館の活性化策（第三次答申素案）

第7回県立博物館・美術館部会において取りまとめる



令和3年1月開催予定の生涯学習審議会に提示予定